

日本代協東中国ブロックは9月10日午前10時半から、今回で8回目となるブロック合同清掃活動を鳥取県米子市の皆生温泉海岸で行った。当日は、岡山県代協、鳥取県代協、島根県代協の会員代理店と家族、保険会社社員など約100名が参加した。日本代協からも金子智明副会長(東京代協所属)と事務局スタッフが参加した。

皆生温泉海岸は、イワシやアジの好漁場として漁業が盛んで、明治初めの1900年に

日本代協 東中国ブロック

皆生温泉海岸で清掃活動を実施



会員ら約100名が参加

漁をしていた地元の漁師が、海から泡が噴き出ているのを偶

今では山陰屈指の名湯として温泉歓楽街となっている。白砂の美しい弓ヶ浜、海岸沿いの遊歩道から見渡せる美保関、大山の風光明媚なこの海岸は「日本の朝日100選」「日本の渚100選」などにも選ばれている。また、この皆生温泉海岸は、日本で最初にトライアスロンの大会が行われた発祥の地であり、当日も海岸通り沿いの整備された歩道を多くのランナーが走っていた。

清掃活動当日は、代協ごとに3グループに分かれて、約1時間、海岸清掃で汗を流した。東中国ブロック長で岡山県代協会長の谷川明義氏は「ブロック単位での清掃活動は、全国でも珍しく、3つの代協が毎年持ち回りで実施している。担当の代協は準備等で大変だが、ブロック内の会員と交流が図れるよい機会なので、毎年続けてきた。ブロック合同清掃も今回で8回を重ね、会員間の交流も深まり、和気あいあいとしたムードで東中国ブロックの活動も年々盛んになってきた」と話した。

清掃活動終了後は回収したゴミを分別し、米子市役所に引き渡した。なお、今回は、島根県代協が事務局となり合同清掃活動を行うことが決まった。